

# 学校と地域の連携・協働を見つめて②

真庭市立北房小学校  
(夏休み～2学期の取組)

## 『地域連携担当・地域コーディネーターの動き』に注目

(平成30年度新設)真庭市立北房小学校では、「安全・安心な通学」見守り体制の立ち上げに続き、授業においても地域との協働により教育活動を充実させようと、学校側の窓口(地域連携担当)と地域側の窓口(地域コーディネーター)による日常的な情報交換(定例会等)を始めました。

### 日常的な情報交換 (定例会等)

#### 地 域 (理解)

学習活動の目標と依頼内容が具体的に分かるので、目標等に合わせて地域の方の得意分野を生かす活動を計画することができます。



地域コーディネーター

地域連携担当

#### 学 校 (説明)

教職員から「何のために、どんな協力をお願いしたいか」を希望表を使って集約し、地域の方に学校のニーズを具体的に伝えることができます。

#### 学校の “ニーズ”

**学習目標に照らし合わせ、地域の方に担ってもらうと活動が充実すると考えられる内容**

#### 連携・協働 のポイント

日常的な情報交換(定例会等)により、地域連携担当が学校の“ニーズ”を正しく伝えることが**有効**！